

情報支援プロボノ・プラットフォーム (iSPP)
第2回理事会 議事録

1. 日時

2011年8月1日(月) 19:00～21:00

2. 場所

モバイル・コンテンツ・フォーラム 会議室
(東京都 渋谷区)

3. 出席者

(1) 理事総数 18名

(2) 出席理事 12名

代表理事

会津 泉 岡本 真(skype 参加)

酒井 紀之(skype 参加) 松崎 太亮(skype 参加、途中退席)

事務局長

岸原 孝昌

理事

荒木 紀子(skype 参加) 臼井 公孝 河合 孝彦

呉 旻立 小島 誠一郎(skype 参加) 地主 雅信(skype 参加)

高橋 正憲

(3) 委任状提出理事 3名

理事

荒川 眞三(会津代表理事へ委任) 藤代 裕之(議長へ委任)

藤川 大祐(議長へ委任)

(4) 出席監事 1名

監事

牧野 二郎(skype 参加)

4. 審議事項

- (1) 議案 1 理事の役割について
- (2) 議案 2 行動規範について
- (3) 議案 3 プロジェクトについて
- (4) 議案 4 ワーキンググループ(WG)について
- (5) 議案 5 修正予算について
- (6) 議案 6 事務局運営委託について
- (7) 議案 7 次回全体会合について
- (8) 議案 8 その他組織運営に関する意見交換

5. 開会、議長、議事録署名人の選任

理事 18 名中、12 名の出席(skype 参加 6 名)、委任状 3 名があり、定款第 37 条に基づく理事会成立(理事の過半数の出席)を岸原事務局長が報告。

議長に会津代表理事が選任された。

議事録署名人に酒井代表理事、河合理事が選任された。

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 事務局報告

1: 会員及び寄付の状況(資料 1)

【報告事項】

「資料 1 正会員、賛助会員、寄付者一覧」について報告。

7 月末で、正会員数が当初目標の 100 名を達成した。ご協力いただいた理事の皆さまに感謝したい。

web サーバの開設にあたって立て替えている費用については、寄付扱いとする予定→寄付の手続きを進めていく。

2: 活動状況について

【報告事項】

情報行動調査について、7月26日に速報版の報道発表を行った。

7月9日の全体会合では、プレゼンの後ワークショップの開催を行った。

7月24、25日に、PMIの震災復興をテーマとしたオンラインシンポジウムに会津代表理事に発表者として招待参加した、アメリカ、オーストラリアからの参加者が多い中、被災地の状況、iSPPの活動、とくに情報行動調査について発表した。

3: HPの更新について

【報告事項】

PJ、WGへの参加者募集ページを準備中。

入会金免除については7月末で終了となるため、HP上の表記の変更を行っている。

正会員申込フォームの「提供できるスキルなど」については、この項目があるために入力をためらう人もいるようなので、この項目を削除する予定。

(2) 議案1 理事の役割について

【議案概要】

「資料2 担当理事と期待される役割」について説明。

理事の役割分担についての案となる。必要に応じてチーム化して会員にチームへの参加をお願いしていきたいと考えている。

【質疑事項】

財務担当として、企画をたてて資金確保を協力して行なっていきたい。

資金確保のため、情報行動調査のような成果物を持って歩き回るのがいい。人脈をたどって、スケジュールを組んでアポをとって会っていきたい。

事務局担当としては、WS→WG→PJという流れがちょうどできてきたところなので、まずはこの流れがうまく動くようにしていきたい。理事の皆さまには、この流れが自立分散的に動いていけるように、取りまとめ役のリーダーとしての協力をお願いしたい。

企画(WS)担当としては、これから具体的なことを考えていきたいが、大きな形でのWSではなく、月1回くらいでのミニWSなどを開催してみたいと考えている。

企画担当となっているが、岩手担当が一人しか割り当てられていないようなので、そちらのお手伝いもしていきたい。

先日の東北事務局会議では現地の情報についての話があったが、内容として表に出しにくいものもあった。そういった話をうまく外部に発信できるようにしていけるといいと思っている。

→外部に話せないということではなく、話す機会が少ないと感じている。うまく文章としてまとめるのも大変であるため、今後相談していきたい。

表に出しにくい内容としては、自治体への支援に関するもので、できればPJ化していきたいが、表だってPJとしては取り扱いにくいと考えている。

→すべてのPJを公表する必要はないため、ブラインドプロジェクトというものがあってもいいと思う。

広報担当として、先日、情報行動調査の速報版のプレスリリースを行なったが、どのように紹介されたかの追跡が出来ていないなど、課題もある。リリースの際には、十数名の方に直接バイネームで配ったところ効果的であった。今後は、理事や会員の皆さまなどから、バイネームでの配信が行なえたらと考えている。また、英語版のプレスリリースなどを行なっていくことになると思うので、翻訳面での協力をお願いしたい。

web担当としては、iSPPの認知度が上がるよう力を入れていきたい。

渉外(官公庁)担当としては、東北の自治体とのネットワークを築いていくためにアプローチを仕掛けていきたい。

総務省では情報行動調査の入札が行なわれ、落札業者との協力などで、できれば協力費をいただきたい。

広報関連では、日経デジタルコアと共同で情報行動調査の報告会ができないか調整中である。

情報行動調査については、FM東京が問い合わせをしてきたこともあり、せっかくなのでラジオ番組で説明などをやってみるのもいいかもしれない。

インターネット白書では、iSPPの理事が記事やコラムを執筆し、iSPPのことが書いてあるので、広報としてうまく利用したい。

渉外(民間)担当としては、情報行動調査の結果を被災地支援を行なっているNPOなどに開示するなどして、関係作りに役立てていけたらと考えている。

国際担当としては、海外の研究機関などとの関係作りをすすめて、シンポジウムなどでの発表の場を提供してもらえるようにしていきたい。

iSPPが取り組んでいる中間的な支援の仕組みを、海外でも展開していけるようにしていきたい。

プロジェクトマネジメント(PM)担当としては、マネジメントを導入することで負担をかけることがないようにしていきたいと考えている。

また、PJをどんどん見えるようにしていき、活動を効果的に進められるようにしていきたい。
今のところ担当が1人だけであるため、理事の中で協力して頂ける方を募集したい。

PJが増えてくると、複数のPJをまとめてサポートするPMO(Program Management Office)チームを設置することになると思うが、PMOチーム編成についても、協力をお願いしたい。

システム担当としては、3月末からサーバを運用しているが、企業からサーバの提供を受けることになったため、落ち着いたところで、新しいサーバへ移行していく予定。
サーバを提供していただく企業については、賛助会員になっていただくことで手続きをすすめている。

東北事務局担当としては、東京事務局にぶら下がる形で運営していければとも考えているが、もう少し東北事務局側で構成について話し合いを行なっていきたい。

教育担当としては、防災教育ということで、いろいろ集めた素材をどうやって教材としていかしていくかというところを、協力してやっていければと思っている。

渉外(民間)担当としては、仙台側ということで、地元の情報を集めながら連携していければと考えている。

理事の役割については、この原案をベースとして、手薄のところがあれば理事の皆さまの中で調整していくかたちで進めていきたい。

【議案の承認】

議案1 担当理事の役割について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(3) 議案2 行動規範について

【議案概要】

「資料3 iSPP 行動規範 案」について説明。

前回の理事会をうけて修正を加えた。この内容で問題なければ、承認を頂いたあと、公開したいと考えている。

【議案の承認】

議案2 iSPP 行動規範について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(4) 議案 3 プロジェクトについて

【議案概要】

「資料 4-2 南三陸町図書館復興企画(仮)」について説明。

「資料 4-1 インターネットテレビ『復興 Now(仮題)』の編成と運営」について説明。

2つのプロジェクト企画をすすめるにあたり、理事会での承認をお願いしたい。

【質疑事項】

「資料 4-2 南三陸町図書館復興企画(仮)」については、仮設図書館の開設という短期的なプロジェクトと、新図書館の再建という長期的なプロジェクトが動くことになり、この2つが並行して動いていけるようにプロジェクトマネジメントとしての支援をお願いしたい。

プロジェクトが2つとなるため、それぞれにプロジェクトマネージャーが必要となる。8月5、6日に現地を訪問する予定で、現地のご担当者からのヒアリングをもとに、今後詳細をつめていきたいと考えている。

「資料 4-1 インターネットテレビ『復興 Now(仮題)』の編成と運営」については、被災地や支援団体の現況をインターネット上で映像を使って国内だけでなく、翻訳して海外へ発信してくことで、海外からの復興協力などにつなげていければと考えている。

体勢作りや財務面が心配だが、スポンサーはついているのか？
→スポンサーはまだ想定していないため、これからの課題となってくる。

想定局数が100～500というのはいくらなんでも多すぎるため、現実的な局数に修正する必要がある。

企画書は修正する必要があるが、プレストをしながらこの方針でプロジェクトを進めていきたいと考えている。

【議案の承認】

議案 3 「南三陸町図書館復興企画(仮)」のプロジェクトについて、この方針ですすめていくことについて承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

議案 3 「インターネットテレビ『復興 Now(仮題)』の編成と運営」のプロジェクトについて、この方針ですすめていくことについて承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(5) 議案 4 ワーキンググループ(WG)について

【議案概要】

「資料 5 ワークショップレポート」について説明。

WS テーマ

- ・被災地でのほしい物リスト(Wish Lists)活用のためのマニュアル化について
- ・NPO 等の活動支援パッケージについて
- ・海外 NGO 等との国際会議開催について

7月9日の全体会合で行なったワークショップ(WS)で話し合われた内容を iSPP の活動としてすすめていくため、3つの WG の設置について理事会での承認をお願いしたい。

【質疑事項】

WGとして活動していくにあたっては、リーダーが必要となるのでは？
→リーダーについては、WGへの参加募集時に、リーダー候補についても募集していきたいと考えている。

【議案の承認】

議案 4 3つのワーキンググループ設置について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(6) 議案 5 修正予算について

【議案概要】

「資料 6 初年度修正予算案」について説明。

7月末時点での実績を入れた修正予算案を作成した。この予算案について、理事会での承認をお願いしたい。

【質疑事項】

寄付金の見込みが外れている状況。-295万円のところがこれから目標としていく金額となる。

情報行動調査の報告書の販売に期待したいところだが、助成金を最低1つでもとっていききたい。

支出欄に、被災地である東北側の経費が計上されていない感じがするが、項目としてあったほうがいいのか？
→東北側での経費については、課題として引き続き検討していきたい。東北事務局の運営については、当初、助成金がとれたらそれを割り当てることを想定していたが、当てが外れてしまっている。

プロボノということで、無償での活動という面もあるが、活動を支援していただいているということで、収支を考慮しながら払える部分については払っていききたいと考えている。

予算案については、この内容でいいと思うが、使い方として被災地などでうまく資金がまわるようお願いしたい。

【議案の承認】

議案5 修正予算案について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(7) 議案6 事務局運営委託について

【議案概要】

「資料7 iSPP 事務局運営に関する請負見積書」について説明。

会議室の利用など事務局運営に関して、MCFとの間で契約を結ぶ必要があるため、条件について理事会での承認をお願いしたい。

【質疑事項】

契約期間としては、2011年5月から2012年3月までの11ヶ月となる。議案5の予算案についても、この内容をベースにしている。

【議案の承認】

議案6 事務局運営委託について承認を求めたところ、出席者全員が異議なく承認した。

(8) 議案 7 全体会合について

【議案概要】

8月27日(土)に全体会合の開催を予定している。場所については現在調整中。
開催についてコメントがあればお願いしたい。

会場については調整中だが、どなたかあてがあれば紹介してほしい。

会場は決まっていないが、開催まで1ヶ月を切っていることもあり、開催についての早めに案内を出していきたい。

情報行動調査の発表のあとに、福島の方にお話をして頂く予定。そのあと、聞いた内容をもとに、iSPPとして何ができるか?ということテーマとしてWSを開きたい。

当日は、skype やストリーミングを使って東北からも参加出来るようにしていきたい。

(9) 議案 8 その他組織運営に関する意見交換

【議案概要】

理事の皆さまから一言ずついただきたい。

skype などを使って、iSPP 以外の人も会合などに参加出来るしくみがあるといい。

表に出にくい話を、うまく外部へ伝えられるようにしていきたい。
行政支援として iSPP が関わっている部分において、課題などが出てきているようなので、それらをまとめたり、必要であれば WG 設置等についても考えていきたい。

iSPP に対して、関心はあるけど何をやっているかはよくわからないため、入会というところまでは考えていないという声を聞いている。そのような声に対して、どうやってわかりやすくアプローチすればいいかということを考えていきたい。

この会議で skype を使っているが、skype 参加者の皆さんはご自身の画像を貼っていない。情報行動調査でも、使っている Office のバージョンが異なったりしていた。IT に関わっている人が集まっているということもあり、こういった部分の整備についても考えていきたい。

プロボノの組織でありながら、組織の運営において学生の手を借りることを考えてみるのもいいかと思う。

iSPP 内での ML で流れるメールの量が多すぎて、錯綜しているように感じている。なんとか整理できないかと考えている。

iSPP の成果物について、著作権や、取り扱い基準を整備しておく必要がある。次回の理事会での議案としていきたい。
→原案としては、基本的に法人著作になると思う。皆さんで合意して作成したということで、団体の権利ということになる。ただ、それをどう使うか？という点については、できるだけフリーユースにしたほうが良いと思うが、そこは皆さんで話し合ってもらいたい。ただ、販売するものに関しては配布制限だけはきちっとかけておいた方がよい。他所に流さないでくださいという確認を取った上で配布する必要がある。

京都で JAIPA 主催のインターネットガバナンスフォーラムでパネルディスカッションを行ってきたが、情報行動調査の速報を紹介したところ、会場の皆さまが興味を示してくれた。

11月4、5日に大分県でハイパーネットワーク社会研究所主催の国際会議を開催する予定。災害対策ということでWSを開催する予定なので、iSPPのメンバーの方々にもぜひ参加してほしい。

7. 閉会

以上をもってすべての審議を終了したので、議長は閉会を宣言し、解散した。

8. 議事署名

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人2名がこれに署名、押印する。

2011年8月1日

情報支援プロボノ・プラットフォーム (iSPP) 第2回理事会

議長 会津 泉

議事署名人 酒井 紀之

議事署名人 河合 孝彦